

# ★チャレンジ! 夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

## 授業拝見、おじゃまします!! (3年 道徳)

5月15日(水)の4校時、3年生の「特別の教科 道徳」の授業を拝見しました。授業の最初、〇〇〇〇先生が「太田といえば?」と発問しました。子どもたちからは「冬まつり」「紙風船」「大台スキー場」など、太田の好きなところや自慢したいところがどんどん出てきました。その後、教材「ふっかちゃんの町じまん」を〇〇先生が範読しました。この教材は郷土愛が主題の読み物資料です。「ふっかちゃん」と

いうのは、埼玉県深谷市のイメージキャラクターです。子どもたちは、教科書にある写真とつなげながら、〇〇〇〇先生の声に真剣に耳を傾けていました。範読の後、一人一人が感想を学習シートに書き、交流タイムが始まりました。〇〇〇〇さんは、「自分たちの町の自慢やよさを考えたくなりました」と感想発表しました。交流タイムの後、「ふっかちゃんになって気持ちを伝えよう」という役割演技を行いました。〇〇〇



〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇さんがみんなの前でイメージキャラクター「ふっかちゃん」になりきり、思いを伝えました。〇〇〇〇さんは「深谷のよさを全国に伝えたい」と熱く語りました。授業の終末には、〇〇〇〇先生から大仙市のマスコットキャラクター「まるびちゃん」、太田地域のマスコットキャラクター「あか松の“ぼったん”」、そして太田中学校のマスコットキャラクター「モニ花」の紹介がありました。知らない子どもたちが多くてビックリしました。〇〇〇〇さんからは「ぼくたちも、学校のマスコットキャラクターをつくりたい」という声があがりました。振り返りでは、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが授業を終えて、考えたことを発表しました。〇〇〇〇さんは「自分の考えがふくらんだ」と振り返っていました。

秋田県民、大仙市民、そして国見の子どもたち。授業を通して、ふるさとを愛する子どもたちに育ててほしいと感じました。また、本校では今年度、3つの「わ」のある授業づくりを進めています。3つの「わ」のある授業というのは、「ワクワク感」「話(対話)」「わかった・できた」という子どもの姿が見られる授業のことです。3年生の授業は、この3つの「わ」のある授業が展開されていて、うれしくなりました。



